

第28期 第3四半期報告書

(2022年1月1日から3月31日まで)



2022年4月28日

株式会社 旅籠屋

会社名 (定款上の商号)
英文名 (英文商号)
代表者の役職氏名
本店の所在地
電話番号
連絡先

株式会社 旅籠屋
Hatagoya & Company
代表取締役社長 吉井 慎也
東京都台東区寿3丁目3番4号
03-3847-8858
常務取締役 小島 裕生

I 当期の業績

(1) 損益計算書 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別		前年度	前年度	当年度	当年度	当年度	当年度	前年同期比	前年度
	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	累計	累計	累計		累計
	2021.1.1~	2021.4.1~	2021.7.1~	2021.10.1~	2022.1.1~	2021.7.1~	2022.3.31	2022.3.31		2020.7.1~
	2021.3.31	2021.6.30	2021.9.30	2021.12.31	2022.3.31	2022.3.31	2022.3.31	2022.3.31		2021.3.31
I 営業収益 売上高	302,119	304,616	423,269	468,136	370,764	1,262,170			+8.5%	1,163,676
II 営業費用 売上原価	422,672	416,101	420,077	432,937	443,050	1,296,066			+2.4%	1,265,164
販売費及び一般管理費	53,779	67,366	60,252	56,209	47,955	164,417			▲1.2%	166,380
営業利益または営業損失(▲)	▲174,331	▲178,851	▲57,060	▲21,010	▲120,241	▲198,312			—	▲267,868
III 営業外収益	29,642	27,530	3,734	2,607	2,088	8,429			▲80.8%	43,813
IV 営業外費用	5,678	7,217	5,690	4,066	5,103	14,861			▲17.7%	18,065
経常利益または経常損失(▲)	▲150,367	▲158,538	▲59,017	▲22,470	▲123,256	▲204,744			—	▲242,120
V 特別利益	—	0	0	0	—	0			—	—
VI 特別損失	400	379	50,000	230	—	50,230			+6.517.9%	759
税引前四半期(当期)純利益または純損失(▲)	▲150,767	▲158,916	▲109,016	▲22,700	▲123,256	▲254,973			—	▲242,880
法人税、住民税	2,187	11,127	4,422	4,422	4,422	13,268			+102.2%	6,563
法人税等調整額	—	▲2,387	—	—	—	—			—	—
四半期(当期)純利益または純損失(▲)	▲152,955	▲167,656	▲113,439	▲27,123	▲127,679	▲268,242			—	▲249,444
期中平均株式数	5,589	5,589	5,589	5,589	5,589	5,589			—	5,589
1株当たり四半期(当期)純利益または純損失(▲)	▲27,367円	▲29,998円	▲20,296円	▲4,853円	▲22,845円	▲47,995円			▲3,364円	▲44,631円

- ・潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- ・前年度第3四半期の特別損失400千円は日光鬼怒川店の野立て看板撤去、同第4四半期の特別損失379千円は那須店の野立て看板撤去、当年度第2四半期の特別損失230千円は秋田六郷店の看板撤去にそれぞれ伴う固定資産除却損です。当年度第1四半期の特別損失50,000千円は、代表取締役甲斐真、取締役金子和義の退任に伴い、その在任中の労に報いるため贈呈する役員退職慰労金です。

(2) 貸借対照表 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別		前年度	前年度	当年度	当年度	当年度
	第3四半期末	第4四半期末	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末	第3四半期末
	2021.3.31	2021.6.30	2021.9.30	2021.12.31	2022.3.31	2022.3.31	2022.3.31
(資産の部)	I 流動資産	現金預金	418,775	439,104	345,748	400,733	274,333
		その他	99,340	99,247	99,704	99,733	99,666
		流動資産合計	518,115	538,351	445,452	500,466	374,000
	II 固定資産	リース資産	322,092	312,122	302,152	292,183	282,213
		他の有形固定資産	1,052,775	1,035,915	1,012,567	989,684	970,909
		無形固定資産	27,936	25,395	22,853	20,367	17,906
		投資その他の資産	198,355	196,393	182,079	182,721	211,809
		固定資産合計	1,601,160	1,569,826	1,519,654	1,484,956	1,482,838
	資産合計	2,119,275	2,108,177	1,965,106	1,985,422	1,856,838	
	(負債の部)	I 流動負債	513,778	532,819	564,968	652,290	634,588
II 固定負債		リース債務	376,202	361,962	350,307	334,085	319,992
		他の固定負債	1,228,856	1,380,614	1,330,488	1,306,827	1,337,717
負債合計	2,118,837	2,275,396	2,245,763	2,293,203	2,292,298		
(純資産の部)	I 株主資本	資本金	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
		資本剰余金 資本準備金	68,916	68,916	68,916	68,916	68,916
		その他資本剰余金	41,710	41,710	41,710	41,710	41,710
		利益剰余金 繰越利益剰余金	▲153,389	▲321,046	▲434,485	▲461,609	▲589,288
		自己株式	▲56,798	▲56,798	▲56,798	▲56,798	▲56,798
		株主資本合計	438	▲167,218	▲280,657	▲307,780	▲435,460
	純資産合計	438	▲167,218	▲280,657	▲307,780	▲435,460	
負債・純資産合計	2,119,275	2,108,177	1,965,106	1,985,422	1,856,838		
発行済株式総数	5,589株	5,589株	5,589株	5,589株	5,589株		
1株当たり純資産	78円	▲29,919円	▲50,215円	▲55,068円	▲77,913円		

- ・長期借入金のうち1年以内の返済予定額383,258千円は、他の固定負債ではなく流動負債に含めております。
- ・固定負債のうち120,000千円は日本政策金融公庫から、300,000千円は商工組合中央金庫からのそれぞれ資本性借入金であり、金融検査上資本と見なされます。2022年4月には、各金融機関への元本返済を繰り延べることを条件として、日本政策投資銀行から300,000千円の資本性劣後ローンによる借入れを行っております。

(3) 株主資本等変動計算書 (2021年7月1日～2022年3月31日、単位：千円、千円未満は切り捨てて表示)

項目	株主資本						純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	
		資本準備金	その他 資本剰余金	その他 利益剰余金 繰越利益剰余金			
2021年6月30日残高	100,000	68,916	41,710	▲321,046	▲56,798	▲167,218	▲167,218
第1四半期中の変動額 四半期純利益				▲113,439		▲113,439	▲113,439
第1四半期中の変動額の合計				▲113,439		▲113,439	▲113,439
2021年9月30日残高	100,000	68,916	41,710	▲434,485	▲56,798	▲280,657	▲280,657
第2四半期中の変動額 四半期純利益				▲27,123		▲27,123	▲27,123
第2四半期中の変動額の合計				▲27,123		▲27,123	▲27,123
2021年12月31日残高	100,000	68,916	41,710	▲461,609	▲56,798	▲307,780	▲307,780
第3四半期中の変動額 四半期純利益				▲127,679		▲127,679	▲127,679
第3四半期中の変動額の合計				▲127,679		▲127,679	▲127,679
2022年3月31日残高	100,000	68,916	41,710	▲589,288	▲56,798	▲435,460	▲435,460

(4) 貸借対照表および損益計算書の作成の基本となる事項

四半期の貸借対照表および損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則および手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している重要な会計方針等は「第27期事業報告書 注記表 I.重要な会計方針に係る事項に関する注記」をご参照ください。事業年度の貸借対照表および損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則および手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

- 固定資産の減価償却の方法 各四半期の減価償却費は年間償却見積額の4分の1相当額を計上しています。
 - 経過勘定項目 未収収益、未払費用等の経過勘定項目のうち、重要性の低い項目は、資産および負債に計上せず期間収益または期間費用として処理しています。
 - 消費税等の会計処理 仮払消費税等および仮受消費税等は、相殺のうえ、差額を流動資産または流動負債として計上しています。
- 当該四半期の貸借対照表、損益計算書および株主資本等変動計算書については、監査法人の監査を受けておりません。

(5) 会計方針の変更の注記

- (1)収益認識に関する会計基準等の適用 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。この結果、損益への重要な影響はありません。収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。
- (2)時価の算定に関する会計基準等の適用 「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19号及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。

(6) 収益認識関係

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

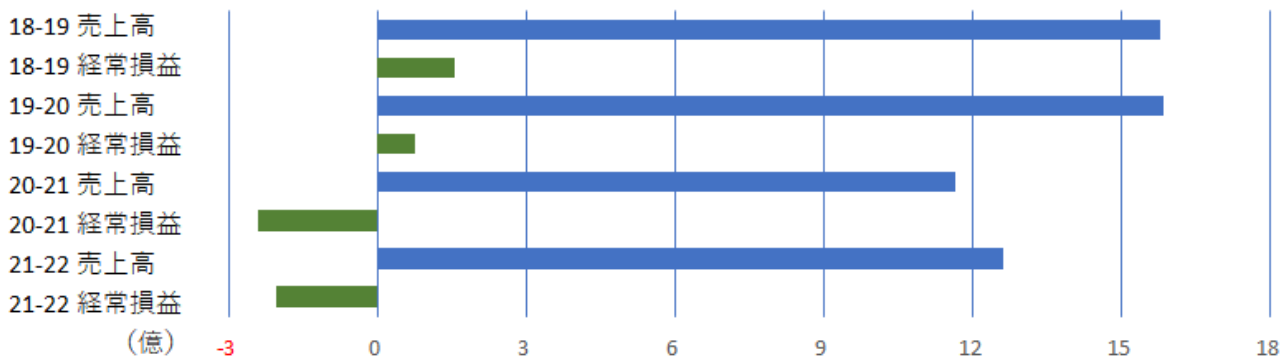
(単位：千円)

	当第3四半期累計額 2021.7.1～2022.3.31
顧客との契約から生じる収益	1,262,170
その他の収益	—
合計	1,262,170

当社は、ホテル事業の単一セグメントであり、顧客との契約から生じる収益の区分は概ね単一であることから、顧客との契約から生じる収益を分解した情報の記載を省略しております。

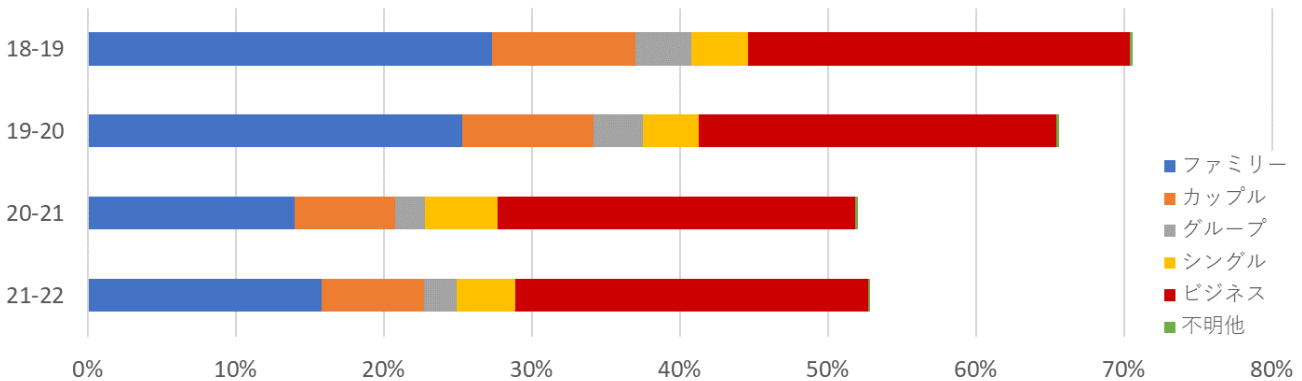
Ⅱ 第28期（2021年7月1日～2022年3月31日）の業績の概況

売上高・経常損益(全社合計)の推移 (2021年7月1日～2022年3月31日)



コロナ影響による売上減少が続いていますが、昨年同期と比較して、売上高は1,163,676 → 1,262,170千円、経常損益は▲242,120 → ▲204,744千円と改善しています。

客室稼働率(全店通算、構成内訳)の推移 (2021年7月1日～2022年3月31日)



客室稼働率は52→53%とほぼ前年同期どおりでした。低調な状況が続いておりますが、ファミリー客が少し持ち直してきています。

【部門別内訳】については、掲載を見合わせております。オーナー様へは要望に応じてレポートさせていただきます。

Ⅲ 第28期の売上高および利益の予測について

(単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目 \ 期別	第25期 通期実績 2018.7.1～2019.6.30	第26期 通期実績 2019.7.1～2020.6.30	第27期 通期実績 2020.7.1～2021.6.30	第28期 通期予想 2021.7.1～2022.6.30
売上高	2,077,044	1,790,355	1,468,293	—
経常損益	149,768	▲178,097	▲400,658	—
当期純損益	87,593	▲196,776	▲417,101	—

オミクロン株による第6波の影響が長引いたこと、またGoToトラベルキャンペーンの再開時期が未定であることから、まだ先行きが不透明なため今期の予想値は現時点で不明とします。

IV 資金および借入金の状況

(1) 現金および預金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨て)

科目	第 27 期第 3 四半期 2021.1.1～3.31	第 27 期第 4 四半期 2021.4.1～6.30	第 28 期第 1 四半期 2021.7.1～9.30	第 28 期第 2 四半期 2021.10.1～12.21	第 28 期第 3 四半期 2022.1.1～3.31
現金および預金の増減額	+48,666	+20,328	▲93,356	+54,985	▲126,400
現金および預金の四半期首残高	370,108	418,775	439,104	345,748	400,733
現金および預金の四半期末残高	418,775	439,104	345,748	400,733	274,333

(2) 短期借入金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨て) 1年以内返済予定額は短期借入金として表示しております。

科目	第 27 期第 3 四半期 2021.1.1～3.31	第 27 期第 4 四半期 2021.4.1～6.30	第 28 期第 1 四半期 2021.7.1～9.30	第 28 期第 2 四半期 2021.10.1～12.21	第 28 期第 3 四半期 2022.1.1～3.31
短期借入金の増減額	+35,020	+11,887	+3,611	+43,834	▲31,290
短期借入金の四半期首残高	320,196	355,216	367,103	370,714	414,548
短期借入金の四半期末残高	355,216	367,103	370,714	414,548	383,258

借入金の減少は、商工組合中央金庫、きらぼし銀行、東日本銀行からの当座貸越借入金の長期借入れへの振替と、借入金の返済猶予によるものです。

(3) 長期借入金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨て) 1年以内返済予定額は短期借入金として表示しております。

科目	第 27 期第 3 四半期 2021.1.1～3.31	第 27 期第 4 四半期 2021.4.1～6.30	第 28 期第 1 四半期 2021.7.1～9.30	第 28 期第 2 四半期 2021.10.1～12.21	第 28 期第 3 四半期 2022.1.1～3.31
長期借入金の増減額	+85,138	+154,145	▲51,526	▲25,061	+31,290
長期借入金の四半期首残高	1,122,931	1,208,069	1,362,214	1,310,688	1,285,627
長期借入金の四半期末残高	1,208,069	1,362,214	1,310,688	1,285,627	1,316,917

借入金の増加は、商工組合中央金庫、きらぼし銀行、東日本銀行からの当座貸越借入金の長期借入れへの振替と、借入金の返済猶予によるものです。

(4) 投資その他の資産の内訳 第 28 期第 3 四半期末 (2022 年 3 月 31 日) 時点 (千円未満は切り捨てて表示)

172,750 千円	… 借上直営店における差入れ保証金 (契約満了時返済)
28,957 千円	… 「水戸大洗店」における建設協力金 (10 年均等償却)
8,891 千円	… 保険料積立金
<u>1,210 千円</u>	… 取引信用金庫などへの出資金
合計 211,809 千円	

V 今後の事業展開について

「県民割」と「GoToトラベルキャンペーン」の対応

3月下旬から都道府県ごとに順次「県民割」が再開され、先日5月末までの延長の発表がありました。また政府主導のGoToトラベルキャンペーンについても、県民割後に続いて実施される見込みです。ここまでの赤字をできる限り補填すべく、このキャンペーンを最大限活用して稼働、売上を上げていきます。

コロナ禍の影響

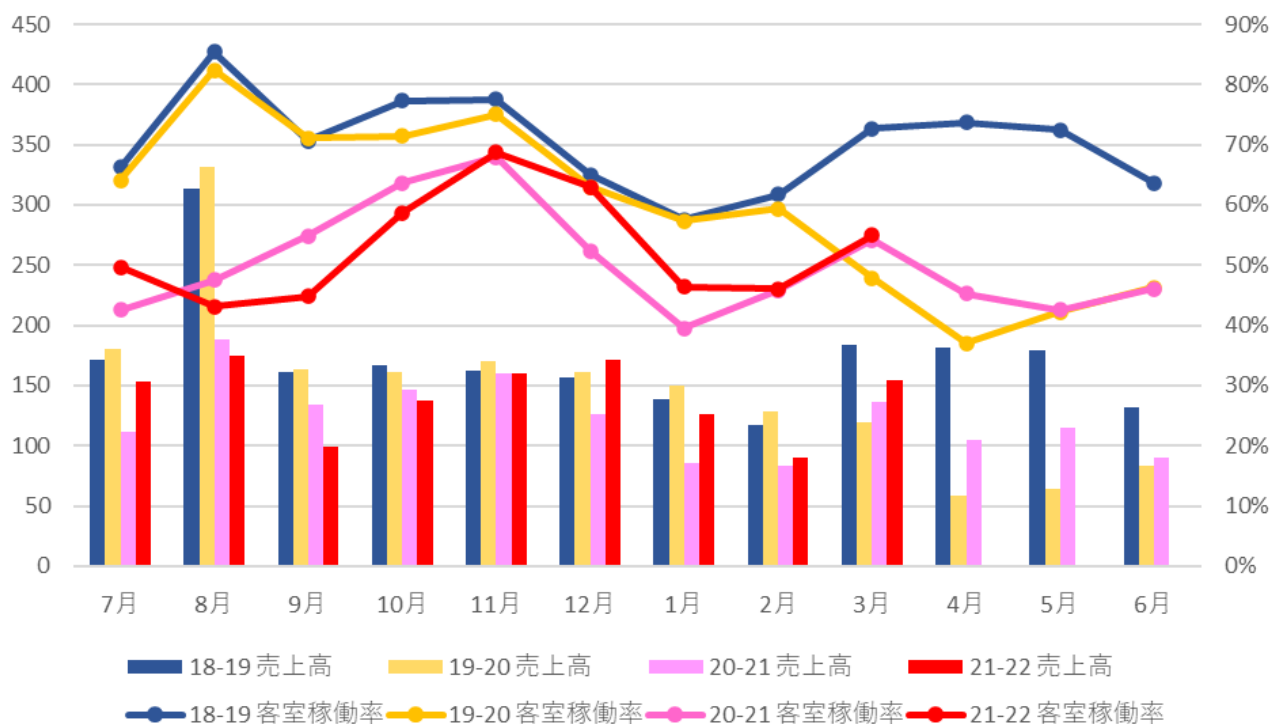
コロナ影響のなかった3年前に比べるとまだまだ低調ではありますが、オミクロン株による第6波は収束に向かっており改善傾向にあります。1～3月の昨年対比につきましても、稼働率は同レベルで推移しましたが、売上は上回りました。これはファミリー層が動き出したことにより客単価が上がったことが要因の一つです。

今後、県民割、ゴールデンウィーク、GoToトラベルキャンペーンと集客が見込めるため、徐々にコロナ前の状況に回復していくと考えています。

一方、マイナス要因としては、部材や消耗品等の価格、またガソリン価格の高騰が収まらず、今後収益、稼働に影響が出ることを懸念されます。

まだまだ先行きがはっきりしないことはありますが、引き続き各店舗とも感染防止対策をしっかりと実施して、社会基盤のインフラとして営業を続けていく方針です。

◆売上高と客室稼働率の月次推移



なお、資金繰りに関しては、前述のとおり4月に日本政策投資銀行から300,000千円の資本性劣後ローンの融資を受けることで、実質的な資本増強効果が得られており、債務超過に対して財務上は健全性を高めております。

以上